

市社会福祉表彰式 43人10団体に表彰・感謝状

9月23日、市社会福祉表彰式を開催し、社会福祉活動での功績が顕著な方や、寄付した方の栄誉をたたえました。共同募金会市支会福祉作文コンクールの入賞作品も表彰しました(順不同・敬称略)。

【市長表彰】▽山崎弘子(綾西)▽毛利恒生(座間市)▽毛利茂美(座間市)▽土屋郁子(海老名市)▽荒井大介(厚木市)▽増田恵美(深谷中)▽川上由希子(早川)▽増田信子(寺尾中)▽高林佳世(深谷中)

【市社会福祉協議会長表彰・感謝】▽表彰▽井上久子(深谷上)▽今井和治(大上)▽笠間慶子(寺尾釜田)▽久津間勲(上土棚北)▽熊谷博(上土棚中)▽興梶知子(大上)▽越川博(上土棚南)▽小玉壽男(蓼川)▽小山茂子(寺尾中)▽齋藤百合子(寺尾西)▽柴田睦子(寺尾西)▽東田洋子(上土棚北)▽永石和子(落合南)▽細田和子(大上)▽前野永年(上土棚南)▽増田美佐子(大上)▽矢部蘭子(寺尾北)▽小山尚史(寺尾中)▽寺山忠雄(蓼川)▽内藤利昌(早川)▽相楽万里子(綾西)▽吉村一利(相模原市)▽大森伊勢子(上土棚中)▽宇田カツエ(藤沢市)▽藤原良子(藤沢市)

市)▽秦野かねよ(大上)▽菊池多代(小園)▽大川治美(深谷中)▽中山忠秋(綾西)▽峰寿会▽クラシックギターあんだんて▽山下英俊(大上)▽鈴木博克(落合南)▽橋本孝雄(吉岡)▽近藤巨(寺尾台)▽感謝(社会福祉)▽輪と和の会日本語教室▽感謝(寄付)▽国際ソロプチミストあやせ▽市商工会女性部▽大上つくしの会▽上深谷地区社会福祉協議会▽さわやかにボランティアあやせ▽新日本舞踊花藤会▽綾瀬幼稚園父母の会

【県共同募金会市支会福祉作文コンクール表彰】▽同会市支会長賞小学生の部▽谷川綾音(上土棚小)

9月23日、市社会福祉表彰式を開催し、社会福祉活動での功績が顕著な方や、寄付した方の栄誉をたたえました。共同募金会市支会福祉作文コンクールの入賞作品も表彰しました(順不同・敬称略)。



9月8日、市違反屋外広告物除却連絡協議会と県宅地建物取引業協会の182人が道路にある違反の立て看板や張り紙を取り除きました。

定期的なパトロールによって違反屋外広告物が大変少なくなっています。今後ともまちぐるみの活動で、違反屋外広告物の一掃を目指します。

図都市政課 ☎70・5629。



あやせ福祉ふれあいまつり開催

10月28日(日)10時~14時30分、文化会館と周辺。

市内で活動をするボランティアグループや障害当事者団体、福祉施設、地区社会福祉協議会がブースや展示、舞台発表を通じての活動紹介や、自主制作品の販売、バザーを行います。同館駐車場でのフリーマーケット、同館正面での福祉車両の展示、実行委員会企画の模擬店などもあります。

右の引換券を持参した方に、ポン菓子をプレゼントします(予定数に達し次第終了)。

図同まつり実行委員会事務局(市社会福祉協議会) ☎77・8166。



違反屋外広告物 除却キャンペーン実施

いきいき健康

難聴は珍しいことではありません

人の聴力は、20歳くらいを境に次第に低下します。加齢によって誰にでも起こる聴力低下は老人性難聴と呼ばれ、高い音からだんだんと聞こえにくくなるのが特徴です。音を聞き分けることも苦手になり「七時(しちじ)」と「一時(いちじ)」を聞き間違えるというようなことも起こります。

聴力はコミュニケーションを取る上で、大切な力の一つです。低下すると、人と接することがなんとなく面倒になってしまうこともあるようです。会話で聞き取れないことが多くなった、聞き間違いが多くなった、という方は耳鼻科を受診することをお勧めします。

保健医療センターでは成人健康相談で簡易聴覚検査を行っていますので利用してください。

図同センター ☎77・1133。

きらめき 市民活動

まちかど特派員
レポート 河野実



Hana-note~
花の音
問川 ☎090・1693・1187



▲講師の優しい語り口で楽しく体を動かします

「子育て支援活動」として、リトミック、花育、コーチングという三つの手法によるワークショップや講座を行い、親子が共に成長することを目指しています。設立から3年、市民活動センター登録団体として、本年度はきらめき補助金の交付も認められました。

では、この三つの手法が実際にどのようなものなのか、中央公民館で開催されたワークショップに参加させてもらいました。この日は年中児、小学生と保護者十数組。

「リトミック」では、子どもたちの想像力を膨らませた世界に親子で入り、実際に楽しそう。次に子どもたちだけで「花育」です。これは、子ども自身の自由なフラワーアレンジメント。好きな花を選び、きれいに個性的に完成させていきます。

子どもたち自身の手で花を生けます

代表の川口さんは「親は子どもの中の宝を探して子育てに生かす、子どもは五感を使って植物に触れながら心を豊かにする。このためのサポートです」と語っていました。また「これからも広く市民の皆さんに呼び掛けて、自己実現の場と親子関係向上の場として活動を軌道に乗せたい」と抱負を述べていましたので、子育て中の方は参加してみたいかがでしょうか。

一方、保護者は「コーチング」で、この日は「子どもからもらった十の事柄」をテーマに「子どもの感性や個性に、どう気がついたかを再発見する語り合い」をしました。